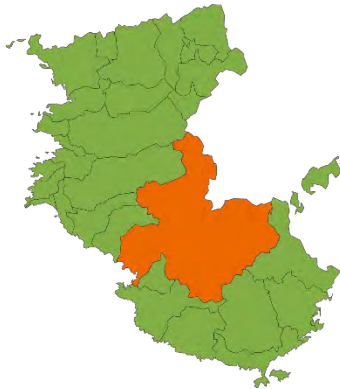


## 和歌山県田辺市龍神村

### 地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化



#### 【活動の基本情報】

参加学生数: 6 名

(2 年生: 4 名、4 年生: 2 名)

活動期間: 2024 年 10 月～

顧問: 大浦由美、佐々木啓

#### 1. 活動実施の経緯

昨年度までの 3 年間、林業 LPP として『「林業×地域」の再発見による地域将来ビジョン策定とシナリオプランニング』というテーマのもと活動を行ってきた。3 年間の活動から、将来に向けた取り組みの具体案として「地域塾」構想を提案、その構想を実現することを目的とし、活動を実施する運びとなった。

#### 2. 活動の内容

今年度は受入団体である龍の里づくり委員会や地域の様々な関係者との関係構築、来年度の地域塾の実施を目標にした現状の取り組みに関する調査の実施を目標に活動を行った。今年度の活動で特に成果が得られたのは龍神村地域にて毎年開催されている翔龍祭への参加である。龍神行政局や龍神村森林組合の方々の協力のもと、「組んで楽しむ 木育ジャングルジム」のワークショップのボランティアスタッフとして関わることができた。

#### 3. 活動を通じて

翔龍祭の参加を通して、昨年度までの活動では接点のなかった林業従事者の方や住民の方々と交流を深めることができた。会話の中で住民が実感している人口減少などの課題や龍神へ移住してきた人たちの関わりについて聞くことができた。また龍神分校の先生方にも LPP の活動や地域塾構想について知ってもらう機会となり、来年度の実施を目標としている地域塾の想定している参加者にもアプローチすることができた。昨年度までの活動では、翔龍祭のような多様な地域住民と関わり龍神村地域を広く捉える機会があまりなかったので、次年度以降も参加していきたい。

今年度の活動の反省点としては、予定していた龍神中学校や南部高校龍神分校等の教員や生徒を対象としたヒアリング調査が実施できなかったことである。調査については来年度の活動開始に合わせ、可能な限り早期実施できるよう計画を進めたい。来年度の活動では夏～秋頃に実際に地域塾を実現できるよう、現地調査や講師となる地元関係者への呼びかけを積極的に行っていきたい。

## 4. 成果ポスター

# 2024年度 龍神LPP

## 地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化

岩田・鈴木・長野・宮下・岡田・落合



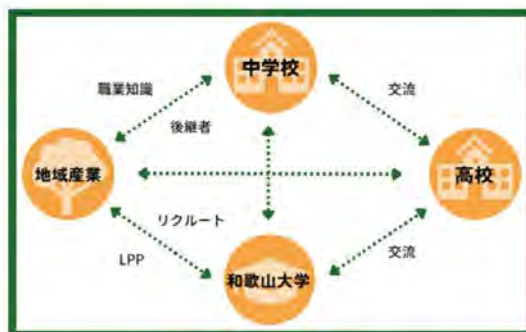
3年間龍神村で行ってきたLPP（しぜみ）の活動は昨年度をもって、一区切りがつけました。プラン策定がゴールだった3年間で先輩たちから引き継いだ「地域塾構想」を実現したいという想いから今年度新たにL活として再始動することになりました。  
L活の立ち上げにあたっては新たに龍神村の中で受入団体となってくれる地域の方々を見つける必要があります。私たちの考えている地域塾構想をお話させていただいた結果、村内各種団体の代表や30～40歳代中心の若手メンバーで構成される龍の星づくり委員会の皆さんが受入団体を引き受けてくださることになりました。

### 01. 昨年度までの活動

田辺市龍神村は古くから林業が盛んな地域であり地域の主要産業の一つとなっています。そのような地域に親着している産業を知るために私たちはまず森林組合や木材市場を訪問し林業の生産から販売の現場を見学しました。さらに、半農半林の生活を営む方に龍神での暮らしについてお聞きしたり、実際にチェーンソーを使って簡易体験を行ったりすることで龍神の暮らしの一部を体感しました。また、龍神中学校で中学生にヒアリングを行い、龍神で暮らす子供たちの林業や地域への意識を調査しました。  
3年間の活動により森林が地域にもたらす恩恵を発見すると同時に、後継者不足や被害などの林業を取り巻く問題も明らかになりました。私たちはこれらの問題を解決するには地域愛と相互理解を深めることが重要だと考え「地域塾構想」を地域の方々に提案させていただきました。

### 02. 地域塾構想とは？

地元の中学・高校と地域産業（林業）、和歌山大学が連携し、大人が地域の子どもたちに職業知識を教えるだけでなく、子供たちが大人に新たな視点やアイデアを与える「学び合い」の交流の場を地域に提案するとともに、龍神にとつての最適モデルを提案し、実施することを目指します。この取り組みを通して、龍神の豊富な森林資源や森林空間自体を子どもたちの教育の場として活用しながら、地域産業を学ぶ機会を創出することで将来的な地域への回帰や地域に対する誇りと愛着の醸成を目的としています。  
私たちは、林業を通じた「学び合いの場」で、子どもたちにふるさとのことをもっと好きになってもらうきっかけを作りたいと考えています。



### 03. 翔龍祭への参加

2024年11月23・24日に開催された翔龍祭に運営側として参加させて頂きました。「わがらの山のくらし」をテーマに、森林資源と触れ合うことができるお店やワークショップが立ち並びました。私たちは、組んで楽しむ木育ジャングルジムのコーナーで、参加者の子どもたちのお手伝いをする形で関わらせて頂きました。最初はスタッフや保護者の方の手を借りて杖を打っていた子どもたちが、どんだんのめり込んでいく姿を見てやりがいを感じました。また、チェーンソーアートの実演や製材所ツアーにて見学させていただき、森林が龍神村の重要な資源であることを改めて実感するとともに、森林が地域の発展を支える偉大な力を有していることを認識しました。地域の皆さんともたくさん交流ができ、とても意義のある2日間となりました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



### 04. 地域塾の実現に向けた今後の展望

地域塾の実現に向け、まずは龍神で行われている林業体験学習や地域教育の現状調査・ヒアリングを行う予定です。また、龍神地域だけでなく田辺市などの高校にも対象を広げて「参加したい」と思ってもらえるプログラム作りを目指しています。来年度の実施を目指し龍神地域の皆さんと話し合いながら、「次世代に残したい産業や地域の姿とは何か」深堀していきたいです。  
新メンバーの募集や取り組みに共感して下さる地域の方を呼び込めるようにInstagramを開設しました！活動の様子や地域塾構想について、今後も発信していくのでフォローといねをお願いします。

\ Follow Us! /



@RYUJINLPP\_WAKAYAMA

## 4. 2024 年度合同活動報告会の実施

### 2) 発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

和歌山県田辺市龍神村

テーマ: 地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化

#### ● 報告について

発表には報告会用に作成したポスターの他、以前 LPP 交流会で使用したスライド資料を一部変更したものを使用した。龍神 LPP は他の L ゼミと掛け持ちで参加している学生も多いため、当日参加できる学生に限りがあったが 2 年生メンバーを中心に発表を行った。内容としては、昨年度まで 3 年間実施していた L ゼミでの活動と地域塾構想に至った流れ、地域塾の概要、今年度の活動、次年度以降の展望について発表した。

交流会の際には、先生などからより地域塾構想を具体化したものにブラッシュアップして関係機関との連携を進めていくべきだなどのアドバイスもいただいた。

#### ● 質疑応答

Q. 地域塾構想について、具体的に誰が講師となり、どのような形態で実施するのか。

A. 私たちが昨年まで行ってきた L ゼミでのフィールドワークの形式を土台にしながら、地域の若者の新鮮なアイデアを創出しやすいようなブレインストーミングの実施などを検討中である。